

二〇一八年度 人文科学研究所活動報告

人文科学研究所所員會議・運営委員會・

各活動グループ分科会

四月十二日・六月十四日・七月十二日・十月十一日・
十一月八日・十二月六日・一月十日・一月十七日・
一月二十四日

人文科学研究所研究懇話会

六月五日

サバティカル報告

——日本の多言語教育をめぐる議論——

齋藤 華子(スペイン語スペイン文学科准教授)

七月十日

ブラジルにおける日語校

——今に生きる明治——

平田 博嗣(教職課程特任教授)

七月二十五日

西方キリスト教における「感覚」を巡る問い

——クレルヴォーのベルナルドゥスを中心に——

坂田 奈々絵(文化史学科専任講師)

十月十六日

礫亭文庫蔵鳳朗関係資料紹介

——越後俳人二川との交流など——

金田 房子(日本語日本文学科非常勤講師)

十月二十四日

近代女性雑誌『常磐』の文体

——明治後期から大正期にわたる四半世紀の推

移——

松本 隆(日本語教員課程非常勤講師)

十一月二十日

二十一世紀の日本の英語劇指導の展開

飛田 勘文(英語英文学科非常勤講師)

十一月二十八日

スペインのジェンダー・クオータ その成立と課題

磯山 久美子(共通教養非常勤講師)

十二月五日

二十世紀初頭の国際博覧会における日本とイギリス

の茶業

——セントルイス博覧会を中心に——

土方 史織(文化史学科非常勤講師)

一月二十二日

ベラスケス絵画と自然主義

——セビーリヤ時代の初期作品から宮廷肖像画

へ——

貫井 一美(スペイン語スペイン文学科非常

勤講師)